

令和5年度学校評価結果〔教職員対象〕

春日井市立鳥居松小学校

	本年度の重点努力目標	目標に向けた取組	中間(2学期)			学年末			改善方策	
			教員		評価	教員		評価		
			A	B		A	B			
1	心身ともに健康でねばり強い児童を育てる。	児童が、楽しく学校生活を送れるように工夫している。	29	71	B	46	54	B	引き続き、児童の様子を注意深く観察し児童の声を十分に聞きながら、学級経営を工夫し授業改善を続けていく。	
2		児童が、他の子に優しくできるような場を多く設定している。	6	94	B	25	75	B		お互いの良い面に目を向け、自他を認め合いながら学校生活を送っていけるよう、学級や学年、児童会の活動等を工夫する。
3		児童が、自分の好きなことや得意なことが意識できるようにしている。	47	53	B	29	63	B	職員間で密接に連携・共有しながら、積極的な児童理解に努め、日常の学校生活の中で児童が相談しやすい雰囲気づくりをさらに進めていく。	
4		児童とよく話している。	59	41	A	63	38	A		特別支援学級と交流学級の担任が密に連絡を取り合い、職員全体で共通理解を図りながら、児童が自分の力を発揮できる環境を整えるため、さらに工夫を継続する。
5		児童が相談した時には、親身になって対応している。	65	35	A	63	38	A	特別支援学級と交流学級の担任が密に連絡を取り合い、職員全体で共通理解を図りながら、児童が自分の力を発揮できる環境を整えるため、さらに工夫を継続する。	
6		特別支援学級との交流・共同学習を効果的に行っている。	7	64	B	33	50	B		特別支援学級と交流学級の担任が密に連絡を取り合い、職員全体で共通理解を図りながら、児童が自分の力を発揮できる環境を整えるため、さらに工夫を継続する。
7		障がいのある児童への合理的配慮を行っている。	41	53	B	38	58	B	特別支援学級と交流学級の担任が密に連絡を取り合い、職員全体で共通理解を図りながら、児童が自分の力を発揮できる環境を整えるため、さらに工夫を継続する。	
8	確かな学力を育てる学習指導の充実に図る。	わかりやすく、楽しい授業が行えている。	14	79	B	30	65	B		「よりよい人間関係を築き、対話を通して学びを深める児童の育成」をテーマに、教職員研修等で研鑽を深め、さらに学習に意欲的に取り組む児童が増えていくよう、学級経営を土台とした「わかる・できる授業」の実現に向け、引き続き努力を重ねていく。
9		基本的な学習規律が定着するよう指導している。	19	81	B	36	55	B	教職員研修で学んだAI教材の活用方法を生かして、学習指導における学習端末の日常的な活用の定着を図る。	
10		毎時間、児童に学習のめあてを把握させている。	14	64	B	36	59	B		
11		毎時間、「えらぶ・決める・ふり返る」場面がある授業づくりを意識し、実践している。	29	50	B	18	59	B		授業準備の効率化と工夫、複数の視点による児童理解をさらに進め、児童にとってより分かりやすく質の高い授業を追究する。
12		授業で学習端末を有効に活用させている。	21	50	B	27	59	B	書道科講師と連携した、的確で落ち着いたある授業を行い、「書」への親しみ・愛着をより一層感じられるよう、指導を継続する。	
13		読書活動の充実を図るとともに、学校図書館を主体的・創造的な学習の場として活用している。	29	57	B	32	41	B		魅力的な読み物教材の活用、登場人物への自己投影、振り返りの記入など道徳的価値を意識した授業を推進し、社会に貢献し主体的に考え行動できる児童の育成に努める。
14		教科担任制は授業の質の向上に役立っている。	40	60	B	50	50	A	魅力的な読み物教材の活用、登場人物への自己投影、振り返りの記入など道徳的価値を意識した授業を推進し、社会に貢献し主体的に考え行動できる児童の育成に努める。	
15		「書道科」を行うことで、「書」への楽しさ、愛着を感じさせている。	33	67	B	36	55	B		魅力的な読み物教材の活用、登場人物への自己投影、振り返りの記入など道徳的価値を意識した授業を推進し、社会に貢献し主体的に考え行動できる児童の育成に努める。
16		「子どもたちが深く考え、わかる喜びを実感できる道徳」の授業が展開できている。	15	69	B	18	59	B	魅力的な読み物教材の活用、登場人物への自己投影、振り返りの記入など道徳的価値を意識した授業を推進し、社会に貢献し主体的に考え行動できる児童の育成に努める。	
17	生徒指導の充実を図り、基本的生活習慣の定着に努める。	あいさつ、返事、聞く態度、清掃態度が育成されるよう指導している。	25	75	B	25	58	B		職員間で情報共有を密に行って共通理解を図り、児童自身にも必要性を考えさせながら丁寧に指導を行って、基本的な生活習慣の確実な定着を目指す。
18		児童に、「廊下を歩く」などの学校のきまりを守らせるよう指導している。	47	53	B	25	63	B	通学班長による毎月の振り返りシート記入と報告を継続するとともに、通学班会議などでの指導により、安全な行動の習慣化を図る。	
19		交通ルールを守って生活するように指導している。	29	71	B	25	58	B		健康観察チェックカード、ハンカチ・つめ点検、手洗い指導等の予防教育に務め、児童の発達段階に応じた「体・心・いのち」に関する指導を継続的に行う。
20		感染予防のための新しい生活様式の定着など、命を大切にする意識を高め、安全指導の徹底を図っている。	41	59	B	29	67	B	体育の授業での工夫だけでなく、委員会や児童会の活動、養護教諭・保健部との連携を通して、体を動かすことに興味を持つ児童が増えていくよう、働きかけを続ける。	
21		計画的な体力づくりを実践し、児童の体力増強を図っている。	8	77	B	27	64	B		生徒指導部・保健教育部と連携して職員間で共通理解を図り、地域・保護者の協力も得ながら、児童への安全指導と取組を進める。
22		学校事故防止に努め、子どもの安全について十分な指導や取組をしている。	35	65	B	38	63	B	生徒指導部・保健教育部と連携して職員間で共通理解を図り、地域・保護者の協力も得ながら、児童への安全指導と取組を進める。	
23	開かれた学校を目指し、保護者や地域の方々との連携を図る。	保護者の声や願いを自分の教育活動に反映している。	20	80	B	35	65	B		個人懇談会や学年懇談会、授業参観はもちろんのこと、常日頃からホーム＆スクール、電話、連絡帳などにより、保護者と緊密に連絡を取り、丁寧な対応と説明を行う。そして、校内で共有し、迅速な対応に心掛ける。
24		保護者の悩みに親切に対応している。	53	40	A	43	57	B	個人懇談会や学年懇談会、授業参観はもちろんのこと、常日頃からホーム＆スクール、電話、連絡帳などにより、保護者と緊密に連絡を取り、丁寧な対応と説明を行う。そして、校内で共有し、迅速な対応に心掛ける。	
25		児童の様子について、家庭への連絡をきめ細かく行っている。	43	57	B	26	70	B		
26		学校は、学校だよりや各種だより・ホームページでわかりやすい情報発信をしている。	33	53	B	35	57	B		個人懇談会や学年懇談会、授業参観はもちろんのこと、常日頃からホーム＆スクール、電話、連絡帳などにより、保護者と緊密に連絡を取り、丁寧な対応と説明を行う。そして、校内で共有し、迅速な対応に心掛ける。

教員の数字は肯定的回答(A(十分満足できる)、B(おおむね満足できる))の%

評価 A(十分満足できる)、B(おおむね満足できる)、C(今後努力を要する)